

富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
 住所：富良野市弥生町1番1号
 電話：0167-39-2320
 FAX：0167-23-3528
 Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員会の活動

8月23日・24日 北見市開催の北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加しました



都市教育委員会連絡協議会の各種報告や、今後の事業計画、予算等について協議が行われました。事例発表では、「インクルーシブ社会の実現を目指す学校教育・社会教育の推進」として各市町村より活発な意見交換がなされました。北見市の北見カーリングホールや市立図書館も見学し、理解を深めました。

富良野西中学校、長寿命化改修の設計中です

富良野西中学校につきましては、令和7年度からの長寿命化改修に向けて、現在施工内容の設計中です。内容や、工事期間等につきまして、十分に精査してから保護者・学校関係者への説明会等を行っていきます。



旧布部小中学校の片付け整理中です

令和6年3月31日で閉校となりました「布部小中学校」につきましては現在、校舎中の物品の整理をしています。再利用可能なものは、他の学校や市関連施設での利活用をしていきます。その後、令和7年の春ごろに市民譲渡会を予定しています。最終的に不要な物品は廃棄し、閉校後の利活用を図っていきます。



教育委員より

ルソーの「学校教育観」とカミュの「不条理」をとおして「勉強の意味」を考えた

「勉強だけがすべてではない」ということばをよく耳にします。勿論そうでしょう。しかし、ルソーは説きます。「学校は勉強するところです。まず、勉強してそのあとに次のことに取り組むのです。

広く学び、深く考える。知らなかったことを知った喜び、できなかったことができるようになった喜び、それは人を豊かにさせます。その喜びは学習の中にあります。これからの人生の道標の多くは授業の中にあります。」

ルソーはこうも言っています。「社会に出て必要なこと、役立つことはすべて教育によって与えられる。学校は知識を得、教養を高め、識見を養うところです。努力することの尊さや正直であることの潔さを知るところです。」そして、それらはすべて、より賢く、より強く、より優しく、より美しい自分になることへと繋がります。

カミュは「不条理」と直面して人間ははじめて自分と向き合い、真の生き方をつくりあげることができると言います。そして、「不条理」から目を背けて一時の享楽に走ったり、そこから逃避してはなりません。ましてや、すべては世の中が悪いとばかりに罪を犯したり、自ら命を絶つことなどもってのほかです。

人生がどんなに過酷なものであっても、絶望は赦されません。生きていれば、この先何が起こるか分からない。思いもよらぬ幸運が訪れることもあります。「生きることへの絶望なくして、生きることへの愛はない。」「人間の中には、軽蔑すべきものよりも称賛すべきものの方が多い。」とカミュは述べます。ではそのような強い信念はどのようにしてつくられるのか。

私はそれはやはり勉学によってつくられると思います。文学、歴史、哲学、芸術から求めるべき価値や先人の生き方を、数学、科学から自然や人間の真理や法則を、保健や体育から心身の健康を学ぶ。何よりもそのような勉学に真摯に取り組むことにより培われた精神が、「不条理」に克つ力をつくると思うのです。

学校はそもそも、天才のためにではなく、平凡で普通の人のためにあります。過去から連綿と繋がる学問や研究を基礎とし、その上に立ってさらに学び、教養を受けることにより、私たちは成長し、立派になり、他者から信頼され愛されるようになります。その相伝相続が一人ひとりの発展であり、ひいては人類の進歩に繋がります。それは学校だけでなく社会も。

文責 教育委員 宮本 鎮栄

教育委員会会議録（令和6年9月）議案一覧より抜粋

- ・富良野市児童手当事務取扱規程の一部改正について
- ・令和6年度就学時健康診断員の委嘱について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください